



ルール守って自転車乗るよ

新学期に入り、市内の小学校で交通安全教室が行われました。皿垣小学校(橋本秀博校長)では、4月12日と14日に実施。柳川警察署と交通安全協会の指導のもと、1、2年生は正しい道の歩き方、3年生は自転車の乗り方を学びました。3年生の松藤蒼蒼さんは「交差点で注意することなどを教えてもらったので、これから自転車に乗るときは気を付けます」と話しました。

CONTENTS	ページ
市長・知事選結果、農業委員紹介	2~3
困りごとは民生委員へほか	4~5
ごみ減量、スマホ決済が便利ほか	6~7

柳川探求

No.14

柳川で光り輝く人や魅力的なもの・ことを紹介します。



【上】日本詩吟学院から表彰を受けたことを報告【左上】小学4年生の時に県大会で優勝したことを報告した当時の写真(左)。一緒に写るのは妹の咲生さん【左下】「子ども音楽祭」などのイベントで詩吟を披露することも

西日本吟詠決選大会で優勝する実力 次のレベルでは全国大会出場を目指す 宿利 芽生 さん(五拾町・18歳)

市出身の宿利芽生さんが長年詩吟に取り組んだとして、公益社団法人日本詩吟学院から表彰を受けました。この賞は、同学院に登録されている全国約3万7000人の会員の中から32人だけに贈られるもの。「詩吟をする若い人が減っているので、これからも詩吟を続けていきたい」と宿利さんは喜びを語ります。

地道な練習を積み重ね全国大会へ

宿利さんが詩吟を始めたのは垂見小学校1年の頃。校外学習で詩吟を知ったそうです。現在

も指導をしている菊次和子さんの誘いで詩吟の練習を始めた宿利さんは、小学4年の時に初めて全国大会に出場。長いときは1日2時間以上の練習をしたり、大会前はマスクを付けて生活し、のどを守ったりするなど、地道な練習を重ね、三橋中学校1年のときに西日本吟詠吟士権大会で優勝。少年吟士権の称号をもらうまでに成長しました。

もう一度全国大会に出場するためにこれからも努力を続ける

小、中学生の頃はただ漢文に

音を付けて詠むのが楽しく、競う感覚がなかったという宿利さん。高校生になると周りを意識するようになり、他人の詩吟をよく聞くようになったそうです。やめようと思ったときもあったけれど、それでも12年間詩吟を続けてこられたのは「いつか必ず役に立つ」という母の励ましのおかげ。4月から大学生になった宿利さんは「これからは、周りのレベルも高くなる。その中でもう一度全国大会に出場したい」とこれからの目標を話してくれました。

編集後記

4月から広報担当となり、練習のためマイカメラを持ち出し、子どもたちの写真を撮った。息子の隣で優しく微笑む男の子は転校で翌日、引越す予定だ。きつと楽しい学校生活だったんだね。写真と一緒に送る息子の手紙にはこう記してあった。今までありがとう。ずっと友達だよ。幸雄

柳川観光大使 大淵盛人九段の囲碁入門

今回は問題ではなく、囲碁の豆知識を紹介します。囲碁に別名があることを知っていますか。

●坐隠 座って隠遁を楽しむ、

深く思考を集中して、の意味 ●手談 打つ手で相手の思考を知り語り合う

●黑白 黒と白の碁石 ●烏鷲 カラスとサギ、黒と白